

## 薬物乱用のない社会を ～ 大麻・麻薬・覚醒剤などについて

平成21年9月10日  
あおぞら薬局 蓬萊 茂希

## 薬物乱用とは

医薬品を医療目的以外に使用すること

医療目的でない薬物を不正に使用すること

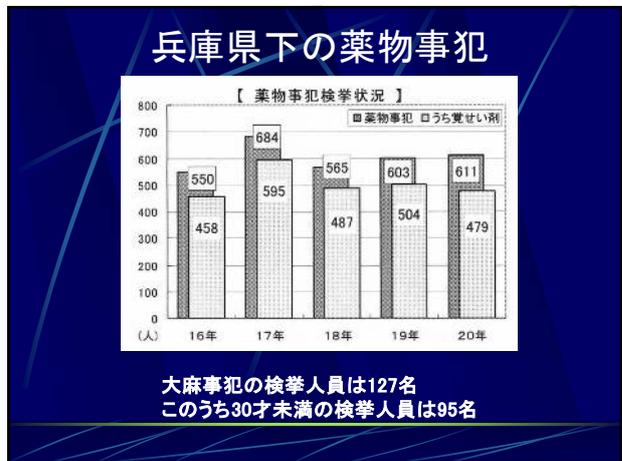
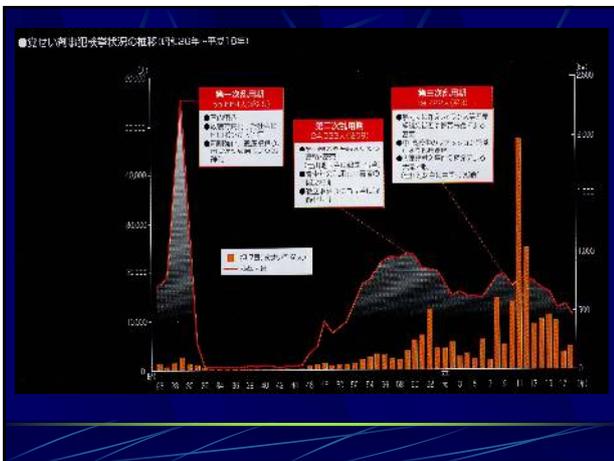
## 規制薬物の種類

- 1 覚せい剤:メタンフェタミン、アンフェタミン
- 2 麻薬:ヘロイン、コカイン、MDMA  
MDA、マジックマッシュルーム等
- 3 大麻:乾燥大麻、大麻樹脂
- 4 有機溶剤:シンナー、トルエン等
- 5 向精神薬:睡眠薬、鎮痛剤等
- 6 違法ドラッグ

### 依存性薬物の有害性比較(概念図)

興奮作用	幻覚作用	抑制作用	
コカイン	大麻 LSD MDMA	ヘロイン モルヒネ オピウム コカイン メサドン	↑ 高 有害性 ↓ 低
メタンフェタミン アンフェタミン 覚せい剤	シンナー	ベンタゾシン メタカロン トリアゾラム ジアゼパム	
メチルフェニデート	向精神薬		

(注1) 有害性は、依存状態における精神・身体への障害度と依存性の強さからみた乱用の広がり可能性の指標  
(注2) 出典: 薬物乱用防止の知能とその教育 (家事日報社)



## 薬物乱用による社会的損失

- 1 薬物中毒・合併症の増加
- 2 凶悪犯罪、暴力行為の増加による治安の悪化
- 3 犯罪組織、テロ組織の資金源

## 依存と耐性

薬物乱用の最も恐ろしい特徴

「精神依存」と「身体依存」

### 精神依存とは

一度くらいなら薬物依存にならない

↓ 強い快感

薬物をまた使いたくなるという状態

↓ 作用が消えると強い不安感

不快感から逃れるために薬物に頼る

### 精神依存とは

いつでもやめられる

↓ 繰り返し使う

コントロールがきかなくなる

↓

「精神依存」の状態

### 身体依存とは

薬物がきれると

↓

苦痛を伴う激しい禁断症状

↓

苦痛を消すため

薬物を使わざるを得ない

### 耐性とは

使用を繰り返す

↓

効かなくなる

↓

回数や量が次第に増加

## 大麻



大麻草



乾燥大麻  
(マリファナ)



大麻樹脂  
(ハシツシュ)

大麻の乱用方法は、通常は乾燥した葉等をパイプ等を使用して吸煙します。

大麻の葉にはテトラヒドロカンナビノールという幻覚物質が含まれています。

大麻を乱用すると気分が快活、陽気になるが、視覚、聴覚、味覚、触覚などが過敏になり、感情が不安定になってしまいます。

暴力や挑発的な行為を行うことがあり、幻覚や妄想におそわれるようになることがある。また、身体的な影響として、筋力の低下、平衡感覚の障害、生殖機能にも支障をきたし、不妊、流産、胎児の死亡を起こすことがある。長期に乱用すると知的機能の低下により集中出来なくなり、簡単な作業も困難になったり、記憶力が低下したりする等の問題を生じます。

## 麻薬(ヘロイン、モルヒネ、コカイン)

### 麻薬及び向精神薬取締法の規制対象 麻薬

現在、麻薬は148物質が規制対象となっている。乱用による問題が生じないようにその流通は厳しい規制の対象となっている製造から所持まですべてが原則禁止であり、医師から疾病の治療用に処方された医療用麻薬を所持・施用する以外の場合は、すべてに免許が必要であり、違反すると厳しい罰則の対象となる。

### 麻薬法の規制対象

#### 麻薬(148物質)

- ・ あへん系麻薬
- ・ モルヒネ、ヘロイン等
- ・ コカイン

### 固形モルヒネ (スリーナイン)

### ヘロイン



ヘロインには神経を抑制する作用があり、乱用すると強い陶酔感を覚えることから、快楽が忘れられず、乱用を繰り返しやすい。身体的依存としては2~3時間ごとに摂取しないと、体内の筋肉に激痛が走り、悪寒、失神などの禁断症状に襲われる。



あへん採取後のけしぼうず



アヘンには神経を抑制する作用があり、乱用すると強い陶酔感を覚え、精神的・身体的依存性を生じやすい。常用するようになると、脱力感、倦怠感を生じ、やがては精神錯乱を伴い、衰弱状態に陥ってしまうことがある。

### コカ

### コカイン

### コカイン吸引器具



コカインは覚醒剤と同じように神経を興奮させる作用がある。また、コカインは気持ちを高揚し、眠気や疲労感がなくなったり、腕力や知力が向上したという錯覚を起こしてしまいます。しかし、覚醒剤に比べるとコカインは効果の持続時間が短く精神的依存が形成されやすい。乱用を続けると幻覚などの精神障害や虫が皮膚の中を動き回っているような不快感に襲われることがある。

## 覚せい剤

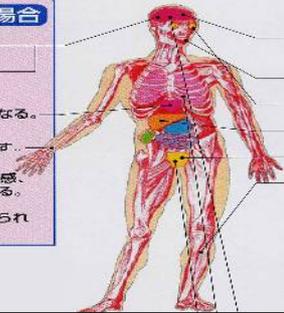
覚せい剤は、**白色の結晶性の物質**であり、末端では1回の使用量の0.02グラム程度を透明なビニールに入れて密売されることが多いです。これを水に溶いて注射するが、火であぶって吸するといった**乱用法(あぶり)**もあります。



覚せい剤は神経を興奮させる作用があり、眠気や疲労感がなくなり頭が冴えたような感じになる。しかし効果が切れると激しい脱力感・疲労感に襲われる。覚せい剤は依存性が強く、続けていると幻覚・妄想が現れ、錯乱状態になることもある。

### 覚せい剤の場合

幻覚・妄想  
フラッシュバックをおこす。  
血圧が異常に高くなる。  
静脈に炎症をおこす。  
強い疲労感や倦怠感、脱力感におそわれる。  
依存性が強く止められない。



## フラッシュバック(再燃現象)

幻覚や妄想などの精神障害

治療

回復(精神障害の下地は残る)

ストレス、飲酒

突然、幻覚や妄想等の精神障害の症状(薬物を使用しなくても)

## 合成麻薬(MDMA、MDA)

MDMA、MDAは、覚せい剤と似た化学構造を有する薬物で、他の化学薬品から合成された麻薬の一種です。

MDMA、MDAは、視覚、聴覚を変化させる作用があり、乱用を続けると錯乱状態に陥ることがあります。

MDMAは、別名「エクスタシー」と呼ばれ、多くは、様々な着色がされ、文字や絵柄の刻印が入った錠剤の形で密売されています。



## マジックマッシュルーム

マジックマッシュルームは、麻薬成分であるサイロシン等を含有するキノコ類の俗称です。

これを摂取すると幻覚作用が現れ、攻撃的な行動や自殺を試みる例もあり、平成14年6月に「麻薬原料植物」に指定されています。



● 幻覚性きのこ(いわゆるマジックマッシュルーム)

## 有機溶剤(シンナー、トルエン等)

シンナー等の有機溶剤は、塗料を薄めるために使用されるものです。

これら有機溶剤は、依然として少年を中心に乱用されています。

主な効果は、酩酊・麻酔・幻覚作用です。酔いや夢のような体験、ハイになる感じ、不思議な幻覚やトリップ体験が現れます。



● 有機溶剤(シンナーなど)

## シンナーの場合

- 成長期の青少年には、背が伸びない、筋肉が衰える、体重が減るなどの症状が現れ、脳や身体の発育をさまたげる大きな原因となります。



## 向精神薬

### 向精神薬

向精神薬は現在80物質が法律の規制対象となっている。その流通麻薬に準じており、処方せん等の無い譲渡・所持が禁止されている。

### 麻向法の規制対象

#### 向精神薬(80物質)

- ・ 睡眠薬：トリアゾラム(ハルシオン)、ニメタゼパム(エリミン)等
- ・ 精神安定剤：メプロバメート等
- ・ 食欲抑制剤：フェンテルミン、マジンドール等
- ・ 鎮痛剤：ペンタゾシン、ブプレノルフィン等
- ・ 中枢神経興奮剤：メチルフェニデート(リタリン)等

## 薬物乱用の甘い誘い

### 薬物乱用の甘い誘い

- クスリでちょっと遊ぼうよ
- 面白いクスリがあるんだけど
- やせられるよ
- イライラがとれてすっきりするよ
- 肌がきれいになるよ
- 眠気がとれて、勉強ができるよ
- とりあえず、預かってよ
- ちょっとだけ、ためしてみない
- みんなやってるよ(やってないのはきみだけ)
- ただの楽楽割だよ
- 最高の気分が味わえるよ
- 1回だけなら平気さ
- お金はこの次でいいよ

